

# しあわせの空

本校教育目標

第2号

豊かな心と生きて働く力を身に付けた子どもの育成



令和2年6月5日  
熊本市立田迎小学校  
校長 松本 公一

## ○漢字の意味

「腹八分目に医者いらず」という諺を聞くと、昔、父から聞いた「品を山のように食うから癌になる。」という言葉思い出します。この言葉は、菊池養生園名誉園長、竹熊宜孝先生がおっしゃったと伝え聞いています。おかげで、「癌」という漢字を一発で覚えました。

# 癌

竹熊先生は、医師として医療や後継者育成に携わる一方で、「医療は食から、食は農から、農は自然から学べ」という信念に基づいて、添加物のない安全な食品を手にするには「自給自足」が一番であると、「養生伝承館」という施設を拠点として、農業の実践・普及を推進していらっしゃいます。

漢字の解釈から、生きるための知恵を教えてくれるものが他にもあるようですが、タレントのゴルゴ松本さんが著書「あっ！命の授業」の中で紹介されている漢字の解釈も面白いと思います。

# 幸

「辛い」という字に「一」たすと「幸せ」になる。その一とは夢や希望、勇気や根性、友人や愛する人かもしれない。お金ではないんです。（中略）幸という字を逆さにひっくり返しても幸は幸なのです。不幸だと思ふから不幸になってしまうわけで、思わなかったら不幸なんて存在しないんです。

## ○3秒ルール

子どもたちがよく使う「3秒ルール」をご存知でしょうか。食べ物を不注意にも床に落としてしまった時に、3秒以内に拾い上げると食べても大丈夫というルールです。

ラトガース大学の食物微生物学者ドナルド・W・シャフナー教授は、実験の結果、食品の種類や床面の材質によって菌の付着量は大きく変わるため、3秒ルールというような時間の経過だけで食べられるかどうかを決定するのは誤りだと結論づけています。もったいないという気持ちと、各自の免疫力によって成り立っているルールなのかも知れません。

ところで、3秒以内といった早く対処することで事無きを得るというルールを、人間関係においても作ってはどうかと思います。……「トラブルが起きた時は、3秒以内に謝る。」

「だって、僕悪くないもん。」「わざとしたんじゃないもん。」「先に手を出したのは相手の方だもん。」と言いつつ、自分の正当性を互いに主張しようとするがゆえに人間関係がこじれてしまうことがよくあります。わざとではなくても、悪気はなくても、相手に不愉快な思いをさせてしまったことに対して3秒以内に謝ると、お互い気持ちがすっきりするのではないかと思います。

## ○論理クイズ

うそつき村と正直村という2つの村があります。正直村の人は、何でも本当の事を正直に言います。うそつき村の人は、必ず本当の事とは逆の事を言います。正直村へ行きかけたあなたは、途中分かれ道に差しかかりました。一方は正直村へ、もう一方はうそつき村へ通じています。そこであなたはそこにいた1人の村人に正直村への道を聞こうと思ったのですが、この村人は正直村の村人なのか、それともうそつき村の村人なのか分かりません。もしこの村人が正直村の人なら、正直に道を教えてくれるでしょう。しかしうそつき村の人なら、まったく反対の道を言われてしまいます。その人に一言だけ質問をして正直村に行くにはどうすればいいでしょう？（答えは次号で）